

# ～玉菟詣～

たまうさぎもうで

『菟』は、因幡の白兔神話から縁結びをもたらす良縁成就の御利益に始まり、  
跳躍する姿は運氣上昇、長い耳は情報を収集して商売繁盛に繋がり、  
多産で高い繁殖力は子孫繁栄・家運隆盛・安産祈願、  
穏やかな見た目からは家内安全、長い寿命は健康長寿、  
そして逃げ足が速く「兔」が「免」に似てることから難を免れる厄災厄除けと、  
古来より兔は、多くの文化や信仰体系において縁起の良い象徴とされています

本社は加賀国立国以来 1200 年以上に渡り加賀國の中心に鎮座し、  
社名の菟橋神社にある『菟』、  
国府が置かれた能美郡菟橋郷の名称にある『菟』、  
加賀三代藩主前田利常公が小松に隠居した時本社を移した城内の『兔御門内』と  
菟との縁起を古来より大切に守って参りました

兔は春に活動的になることから、新しい始まりや再生の象徴ともされています

こまつの九谷焼で作られた「玉菟」

叶えたい願いに合わせて玉菟の色を選び、  
本社の境内に納める事で貴方の願いが成就することでしょう



加賀國總鎮守

## 菟橋神社

こまつ九谷未来のカタチ実行委員会  
新幹線開通記念プロジェクト